「氷原帯」の終刊について

「氷原帯」は昭和二十四年に「東圧俳句」を改題し、細谷源二を主宰として創立されました。

風土に根ざした働くものの俳句を標榜し、そのひたむきな詩精神は多くの俳人を魅了し、北海道俳句界を牽引してきた結社の一つと自負しております。

この度、諸般の事情でこの八一〇号をもって終刊とさせて頂きます。大変残念なことですが「氷原帯」が培ってきた歴史や誇りが消えるわけではありません。

これまで永い間、会員の皆様方にご協力を頂きありがとうございました。

又、俳句関係者の方々のご支援を賜わりましたことに感謝し、ここに謹んで厚くお礼を申し上げます。

これからも会員各位にあってはそれぞれご清吟されますことを切に祈念いたします。

令和元年十二月

氷原帯主宰　山陰　進
氷原帯編集長　石川美智子

氷　原　帯　　２０１９年12月号
〈第72巻第10号・通巻810号〉

目　次

氷餐集	7	山陰　進・推薦
「空蝉」	8	山陰　進
「種透けて見える」	9	宮脇木脩
「終り」	10	臼井千百
山巓集鑑賞	11	島　彩可
山巓集	13	丹下美井・ほか
他誌転載Ⅰ	19	「現代俳句」12月号より
私の共鳴作品	20	諸　家
―特別作品―		
「九十路」	21	清川昌比露
―鑑賞―		菊池俊之
餐燈集	23	藤田れい子・ほか
他誌掲載Ⅱ	28	「現代俳句」11月号より
餐燈集展望	29	鹿岡真知子
天衣無縫	31	山陰　進
砂金帯集	35	木南　琴・ほか
砂金帯集管見	37	吉崎幸恵
課題句『蛙』選評	39	原田昌克
句会報	41	日胆研究句会・ほか
つれづれに	115	石川美智子

特集・年度賞発表　42

選考経過	43	原田昌克
受賞作品	45	中原楓葉
候補作品	49	
選評	52	山陰　進・ほか

特集・全国俳句大会　60

合同会議報告	61	清川昌比露
全国俳句大会記	63	原田昌克
大会次第・など	63	
懇親会記	67	木南　琴
入賞作品	70	
来賓・主宰選句表	71	
大会作品成績表	73	

終刊特集　78

氷原帯の歩み	79	
歴代主宰20句	80	
寄稿・終刊によせて	85	各支社長・支社長代行
歴代年度賞一覧	95	
年表	98	H30・1～R1・12

社告など

終刊のお知らせ	1
グラビア	3
お知らせ	28・36
御礼	77
お知らせ	116
御礼	116

表紙・カット　今堀　冷子